

令和4年度 学校だより 第22号

篠津原野に雲晴れて

【前文】先人の熱いところを受け継いでふるさとに生きる力を育む

【教育目標】

真理を探究する人
 友情を大切にする人
 創造し実践する人
 健康で明朗な人

【教育推進スローガン】
 自立・感謝

節目の時期を大切にし、

更に挑戦し続ける子どもを育む

校長 吉本 浩志

柔らかな日差しが春の訪れを確実に感じさせてくれます。グラウンドを見ると、本校公務補及び地域の方による除雪・融雪作業により、春を待ちきれない土や芝生が顔を出しています。学びの環境整備に尽力してくださる全ての方々に感謝するとともに、令和五年度の教育活動推進に向けて、新たな挑戦への思いが湧いてきます。

先日、二十名の子どもたちが学び舎を後にしました。様々な活動面で最高学年として全校生徒をリードしていた卒業生の功績はとても大きかったと実感しています。本校での三年間はもとより、義務教育九年間の学びから得た力を、将来の夢の実現に向けて、更に高めてほしいと願っています。

さて、本日の修了式では、進級を控えた子どもたちに次のような話をしました。

三学期の始業式の中で「自分のがんばりを正しく評価する三学期にし

てほしい」とお話ししました。そのためには、①目標のある生活を送ること ②取り組みの過程を大切にすること ③うまくいかなくても決して諦めないことが重要です。

学校では、年度末、年度始めを迎える大切な時期を迎えています。雪解けが進み、札幌市内でも高層ビルなどの建設が始まりました。工事現場の足場に使われているのは、もちろん鉄筋です。ところが、お隣の中国では、それが竹で組まれている場合が多いのです。竹は、多くの樹木に比べると比較的細く軽いという特長があります。両側からの引っ張り耐える強度は、鉄筋以上とも言われ、その強さの秘密は、竹の幹にある「節（ふし）」にあるそうです。空に向かつてまっすぐ伸びる竹は、「節目」があることで、横からの強風にも耐えることができ、なおかつ、しなやかで折れにくくなっています。竹における節目の役割と同様に、私たちの成長にも節目は大切です。竹は、太陽光や土中からの水分、栄養分を吸収して成長を遂げます。私たちは、多くの学びや体験を通して

「自分の節」が形成されます。更には、それを主体的に行うことで、より大きな節目ができ、どこまでも伸びていくことが可能になります。今年度を振り返って、「成長した点は何か、残された課題は何か」を自分で整理し、「二年後、自分はこんなことができるようになっていたい、こんなことに挑戦してみたい」という目標（願い）を立て、「その実現に向けて、四月から何をがんばるのかについて考えてみる」春休みにしてほしいと願っています。

最後になりましたが、お子さまの進級、おめでとうございます。春を迎え、ますます多忙な毎日が続くこととご拝察いたしますが、ご家庭での対話を大切にして、子ども自身が自分の考えをまとめ、次の一歩を踏み出せるようサポートしていただければ幸いです。

今後とも、本校の教育活動に対し、変わらぬご理解・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。令和四年度最後のご挨拶といたします。

第五十七回卒業証書授与式

三月十一日（土）に第五十七回の卒業証書授与式を本校体育館で行いました。二十名の卒業生は、緊張した様子を感じさせながらも堂々と式に臨み、三年間過ごした中学校を巣立って行きました。

卒業生は中学校生活を新型コロナウイルス禍で過ごすことになりました。そのような中でも決して明るさと前向きさを失わず、何事にも真摯に取り組んできました。

式の中では、参加者全員で校歌を歌う場面や卒業生による合唱する場面がありました。保護者の皆様からは合唱の場面が大変感動的でとても良かったという褒めの言葉をいただきました。また、在校生の白木柚羽さんと卒業生の阿部真之介さんの挨拶は在校生として学校の伝統を継承していく決意と卒業生として周囲への感謝の気持ちが良く伝わる内容でした。

式後は保護者と卒業生が一緒に写真撮影を行い、その後、卒業生は「中学校最後の学活」に参加し、別の時を三年担当教職員、保護者とともに過ごしました。

今回の卒業証書授与式は、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策のため、ご来賓の方への案内は石塚村長様をはじめ十一名に限らせていただきました。

最後になりますが、石塚村長様と戸賀澤PTA会長様にはご祝辞をいただきました。厚くお礼を申し上げます。また、保護者の皆様には式の参加人数を二名までとする制限にご協力をいただき、感謝いたします。

**異動教職員より
お別れの言葉**

新年度の教職員人事により四名の教職員が異動となりました。挨拶の言葉を掲載いたします。



吉本 浩志 校長 （3年間勤務 恵庭市に異動）

あっという間の3年間でした。着任して間もなく、感染症拡大防止策としての長期にわたる臨時休業を余儀なくされたことが、つい先日のことのように感じます。

初めの新篠津村勤務でした。着任後、学校と村のようすを知りたくて、校長室に保管してある資料に目を通しました。それを見て、新篠津の子どもたちが「自立に向けて何ができるようになればよいのか」を自分なりに整理しました。また、まちづくり総合計画を見ると、村の将来像を「豊かな田園に囲まれた 笑顔あふれるまち・新しのつ」と定めていることを認識し、「学校教育を通して何ができるか」を考えました。活動が制限される中ですが、保護者・地域の皆様に支えられながら学校経営を進めることができ、大変幸せに感じます。優しさや純粋さを兼ね備えたステキな子どもたちや教育的愛情にあふれる先生方とのかけがえのない時間は、私の宝物です。お世話になった全ての皆様に感謝し、離任の挨拶といたします。また、いつかどこかで皆様とお会いできる日を楽しみにしております。

大畑 洋平 教諭 （7年間勤務 北広島市に異動）

7年間、勤務することができて本当に幸せでした。支える立場でありながら、子どもたちから多くをもらっていたと感じています。授業でのやりとり、仲間と協力して努力する姿、葛藤を乗り越えた先の成長。そのどれもが喜ばしく、私に活力を与えてくれました。また、素直に人を迎え入れる優しさにも、いつも癒されました。ご家族がお子様の気持ちに寄り添う姿勢を見せてきたからこそ、自然とできてしまうのだと思います。一人の親として頭が下がります。お子様だけでなく保護者のみなさんからも、たくさん学ぶことができました。

変化が激しく見通しが立たない世の中となりましたが、みなさんが幸せな気持ちで過ごせることを切に願っています。また、お子様が「自分らしさ」を発揮して活躍しているお話が聞けることを楽しみにしています。心温まるあつという間の7年間でした。この素敵な思い出を励みとして、新天地でも頑張りたいと思います。本当にありがとうございました。

石崎 博子 教諭 （6年間勤務 北広島市に異動）

新篠津中学校に赴任して最初の年、1、2年生合同の農業体験学習がありました。私は、その様子を撮影する振りをして、どこまでも広がる新篠津の青空と、青々と茂る枝豆畑に目を奪われていました。夕焼けの美しさも、何度写真に収められませんでした。新篠津は、本当に美しい村です。また、子どもたちは、心優しく素直で、頑張り屋さんです。そんなみなさんと6年間一緒に勉強できたことは、生涯忘れないと思います。「国語苦手だな」と思っていた子が、卒業の時に「国語が好きになり得意になりました！」と言ってくれたことは、私の自慢で宝物です。1、2年生のみなさん、漢字100問テスト頑張ったね。もうやなくて済むと思って喜んでいないですね？

6年間、本当にお世話になりました。新篠津で学んだこと、感じたことを次の学校でも生かして、良い先生になっていきたいと思っています。ありがとうございました。

坂井 麻衣 指導員（1年間勤務 小学校に異動）

小学校でしか働いたことのない私にとって、今年度の中学校配属はとても不安でした。しかし、着任した日、小学校時代と一緒に過ごした懐かしい顔ぶれが、少し大人になって元気に挨拶してくれた時、新しい環境への不安から、小学校の続きを見届けられる喜びに変わりました。

中学校の学習は私自身遙か昔ぶり…必死で勉強しました（笑）。中学生とはまた違うお年頃の子供達との関わり、支援の加減も手探りで、うまく支援ができたかはわかりませんが、行事や授業、生徒との関わりはどれも新鮮で、とても楽しく、勉強になりました。1年で中学校を去るのは寂しいですが、この経験を生かして、今後も「小中一貫」で新篠津の教育に関わっていけたらと思っています。これからもよろしくお願いいたします。

令和5年4月前半・行事予定表

日	曜	学校行事	部活	給食	スクールバス			日	曜	学校行事	部活	給食	スクールバス		
					1便	2便	特別便						1便	2便	特別便
1	土	年度始休業～4/6						9	日						
2	日	ノーゲームデー						10	月	知能検査(1年)・対面式	○	○	15:40②	17:30②	—
3	月							11	火	朝会・発育測定	○	○	15:40②	17:30②	—
4	火	諸会議						12	水	NRT標準学力検査 安全点検日 校内研修	×	○	14:25③	—	—
5	水	職員会議(新年度)						13	木		○	○	15:40②	17:30②	—
6	木	校内研修						14	金		○	○	15:40②	17:30②	—
7	金	着任式・1学期始業式・入学式	○	○	15:40②	—	—	15	土	土曜授業・参観日・学校説明会 PTA総会	×	×	10:30②	—	—
8	土							16	日	ノーゲームデー					